

令和元年度 学校評価委員会総括

1 目標

- (1) 教育活動、学校運営について有意義な「学校評価」を実施する。
- (2) 「評価」に基づき学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努める。
- (3) 「評価」を公表し、保護者・地域住民の理解と参画を得て、開かれた学校づくりを推進する。

2 取り組み

- (1) 授業アンケート
授業をより充実したものにしていくことを目的として、全ての授業で、受講する全生徒に対して6月に実施。
- (2) 保護者アンケート
三者面談に来られた保護者に対して、12月に実施。
- (3) 学校自己評価
教職員自身による自己評価として、2月に実施。
- (4) 学校関係者評価
学校評議員による学校評価として、3月の第3回学校評議員会で実施。
- (5) 学校評価の総括について
ア (1)～(4)の評価及びアンケートの結果を総括し、本校公式HP上へ掲載し公表する。
イ (1)～(4)の結果は各部署へフィードバックし、次年度の各校務分掌の「取り組むべき課題」に反映させ、教育活動の改善につなげる。

3 総括

- (1) 校内各種アンケート
各種アンケートの結果が各教員の授業や各部署の運営に活かせるように、できるだけ早急に結果をフィードバックできるよう、集計の迅速化を図りたい。授業アンケートに関しては、データ処理にまとまった時間が必要となり夏季休暇の後半になってしまった。夏季休暇前に示すことができれば、後期補習以降の授業から授業改善に努めることができたのではないかと反省している。
保護者アンケートについては736名から回答を得た。「本校に期待されるものは何

か」という項目では、『授業の充実と学力の保障』『進路指導と進路実績』が1・2位であるが、続く3位に『生きる力の育成』が続いており、勉学や進路も大切であるが、将来的に『生きる力の育成』に期待が大きい、という結果になった。また、「学校行事」や「部活動」においても子どもたちの健全な成長や学校生活の充実に寄与していると思われるという結果になった。「生活指導」については、人を育てるという観点で行われているという結果になっている。「学校との連携」については、よく連携が図れているとの回答が多かったが、学校のプリントを保護者になかなか渡してくれない、という意見もあった。上位を占めたものに関連する項目（「学習指導は充実しており、お子様の学力をつけている」など）においては概ね高評価を得ている。

学校自己評価に関しては、「いじめ対策」や「教育相談」の項目については概ね良好で、「学校行事」や「人権尊重」に関する項目も良好で会った。ただ、「教職員の共同体制の確立」の項目については低評価であり、来年度以降の改善が望まれる。

（2）学校関係者評価

学校評議員に『学校自己評価』『授業アンケート』『保護者アンケート』及び各年次が実施する『生活実態調査』の結果、各部部長・年次主任からの報告などを参考に学校に対する評価をお願いした。6名の方全員から、全体として良好な評価をいただき、特に『生きる力の育成』については、学校行事や部活動などの学校生活をとおして、今後ともより良い方向に導いてあげてほしい、とのご意見をいただいた。